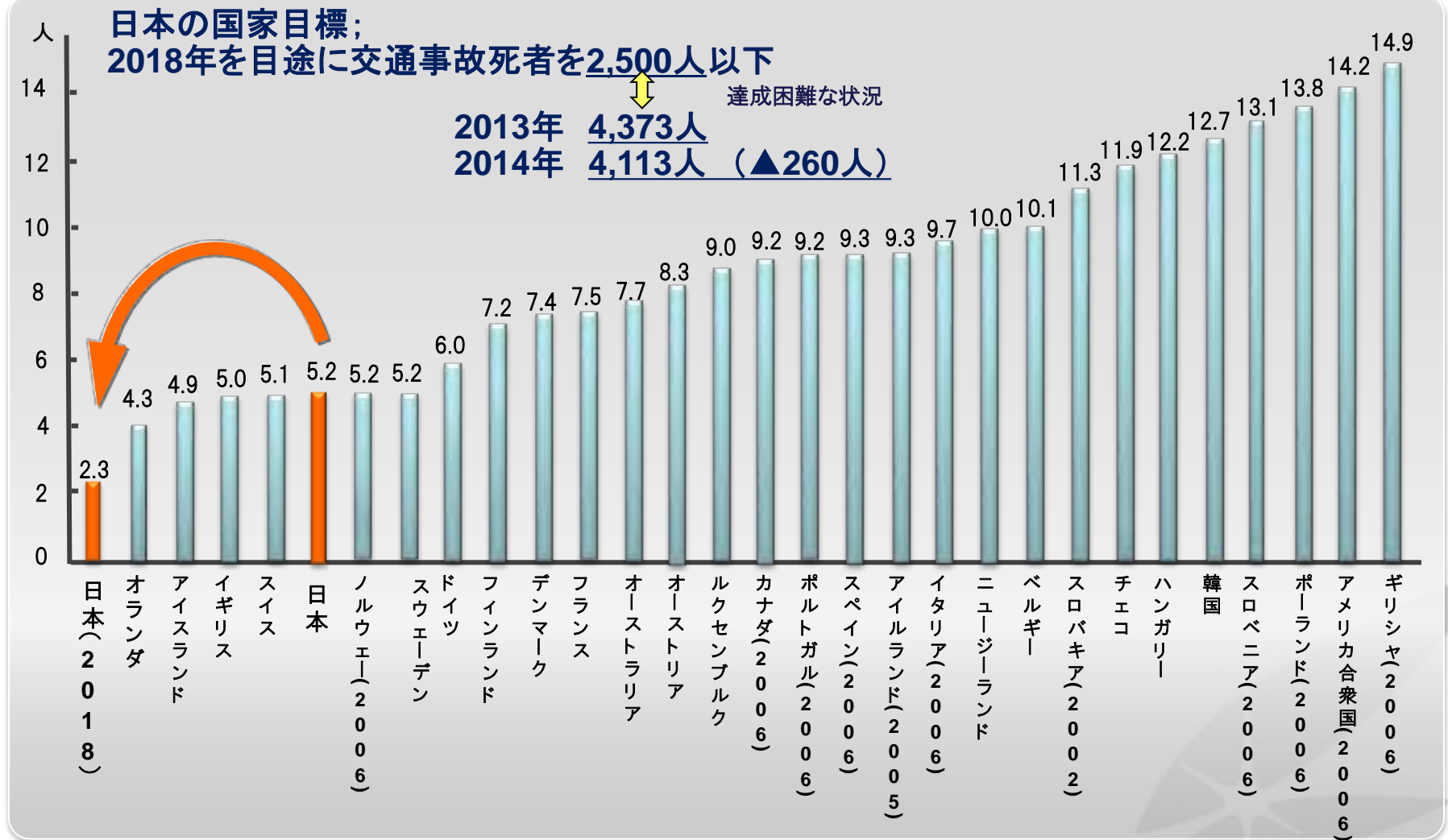


# 交通事故死者の状況

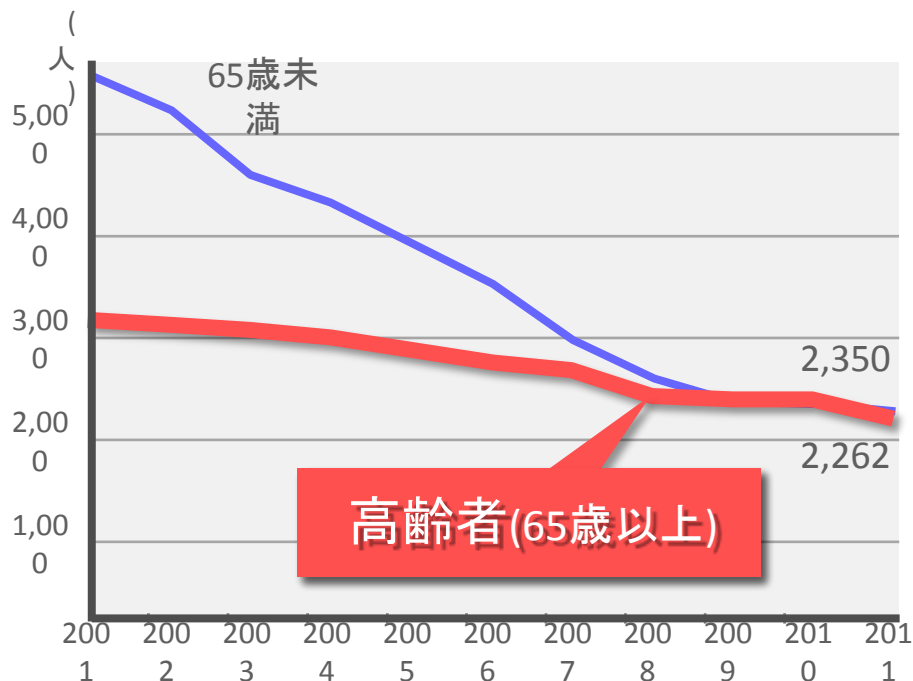
## 人口10万人当たりの交通事故死者数



出展:内閣府資料より(2009)

# 日本における高齢者の事故

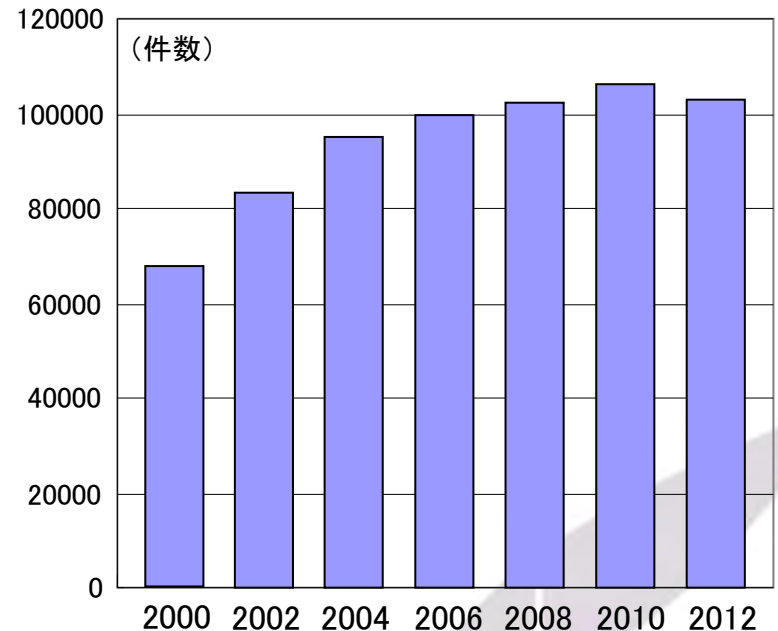
## 交通事故死亡者の推移(\*1)



\*1: 2012年 警察庁 交通事故統計より

## 65歳以上の高齢ドライバーが 第一当事者となった事故件数(\*2)

高齢ドライバー起因の交通事故は増加。

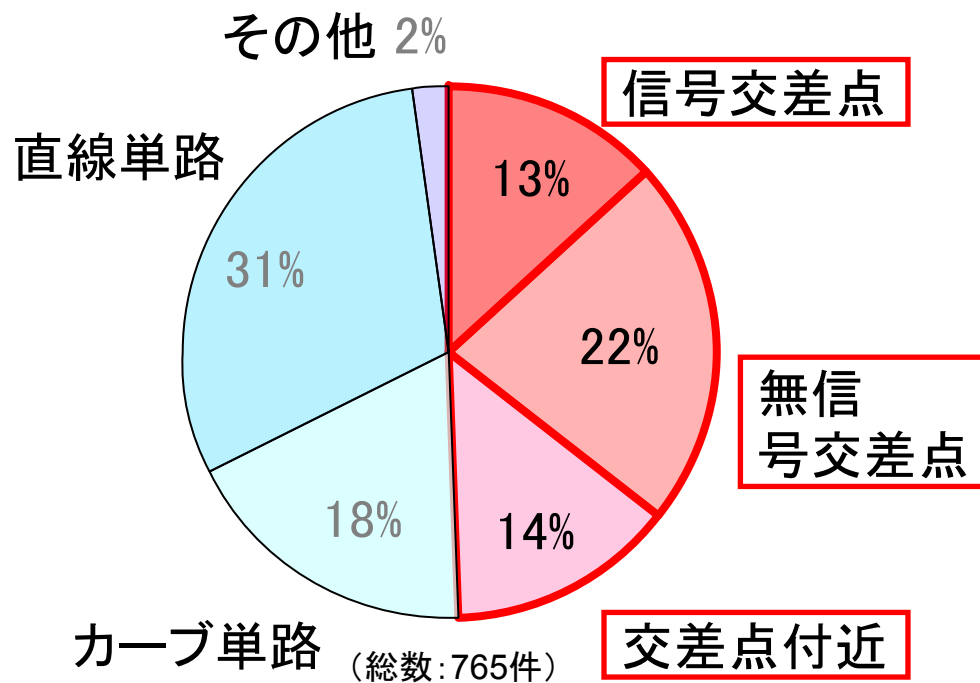


\*2: 警察庁交通局「平成24年中の交通事故の発生状況」

# 日本における高齢者の事故実態

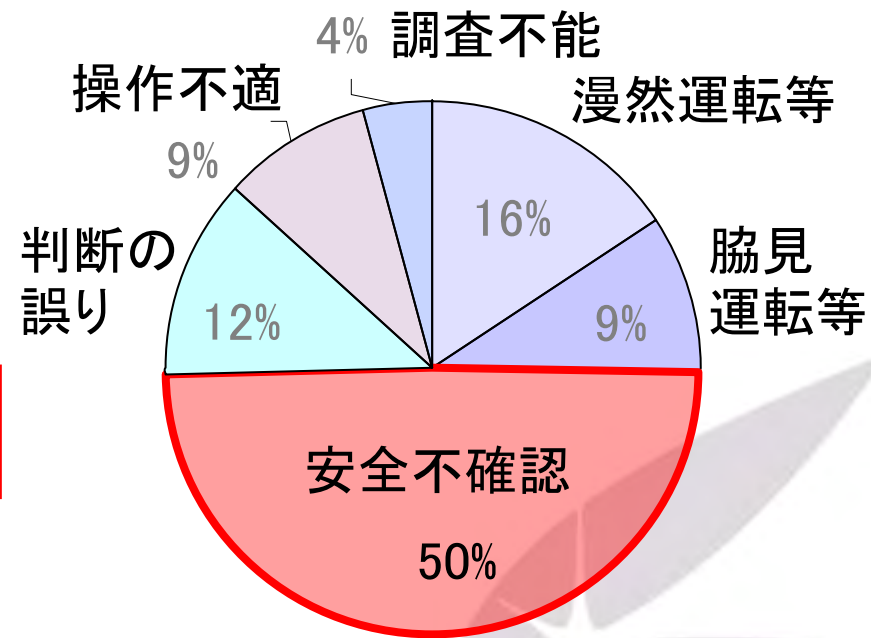
65歳以上の高齢ドライバーが  
第一当事者の死亡事故

約半分は、交差点内および交差点付近で発生。



交差点内の事故発生原因  
（65歳以上の高齢ドライバーが  
第一当事者の死亡事故の内）

安全不確認が50%と圧倒的に多い。

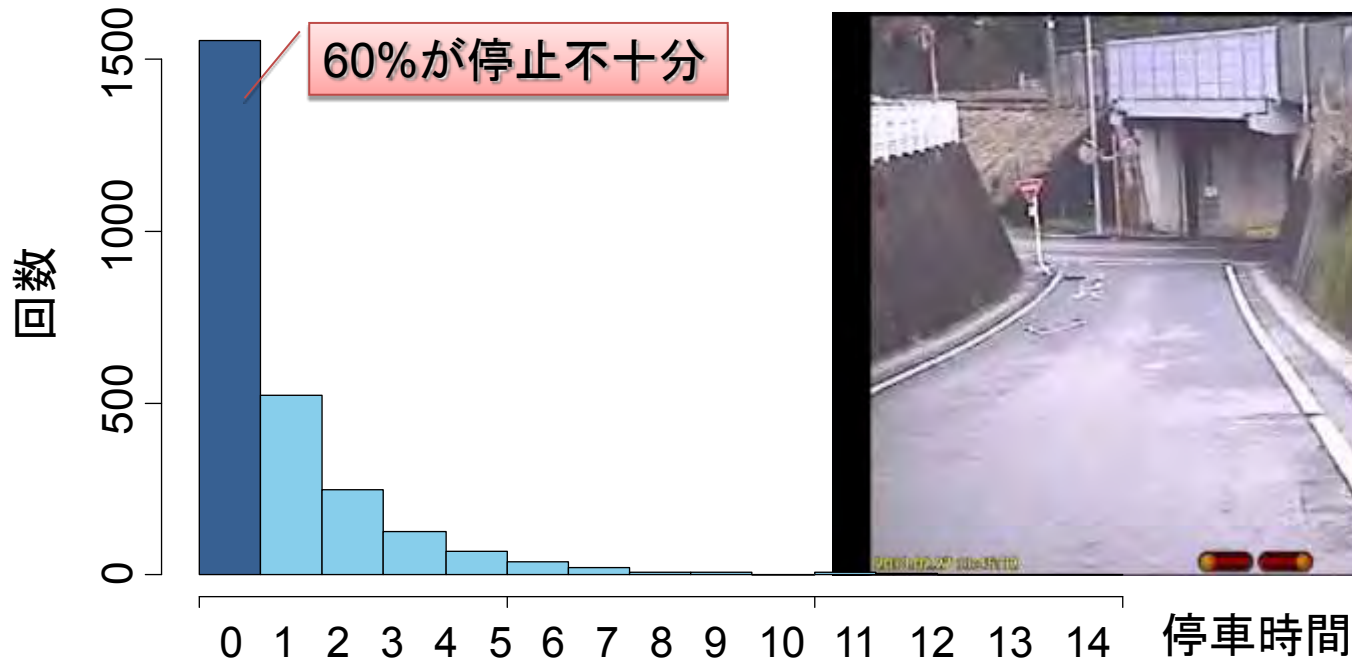


平成23年のITARDA事故データより

# 高齢者の運転状況の例

一時停止交差点での停止状況の観察結果

(一時停止線から手前20m、先15m区間における速度5km/h以下の時間)



調査対象	50人(年齢69.9±3., 男性37人, 女性13人)
走行距離	約 30,600 km
走行時間	約 1,360 時間
一時停止交差点シーン 遭遇回数	2,614回

